



防災だより

危機管理室

『自主防災組織』が結成されました！

生名地区で、新たに次の2団体が結成されました。

平成30年7月豪雨での経験を踏まえ、有志の方が中心となって、現状の「自主防災組織」の在り方について話し合いを進めてきました。新しく結成された団体は、「自分の家族や近所の方の命を守ること」や「より実効力のある小さな組織であること」を目標としています。



◎久保の谷・中の谷自主防災会



◎生名地区5分団自主防災会

●連絡・問い合わせ

総務課危機管理室 ☎77-2500

火災・救急・救助は



119

消防だより

令和2年度全国統一防火標語

「その火事を 防ぐあなたに 金メダル」

新人職員紹介

愛媛県消防学校での6ヶ月間の初任科教育研修を終了し10月より消防署に着任した新人職員2名を紹介いたします。



梶原 嘉記 (19歳)
愛媛県宇和島市出身

趣味：映画鑑賞、読書
好きな言葉：ありがとう
好きなスポーツ：野球



持留 悠里 (19歳)
鹿児島県南大隅町出身

趣味：釣り
好きな言葉：有言実行
好きなスポーツ：剣道

心境・抱負
半年間の厳しい学校生活を終了し、10月から上島町消防本部で勤務しています。上島町の皆さまから信頼される消防職員になるために、知識や技術・体力の向上に努めていきます。上島町の安心・安全を守るためにがんばりますのでよろしくお願いします。

心境・抱負
愛媛県消防学校では仲間と切磋琢磨して、体力や技術等を磨いてきました。未熟な部分もありますが、向上心を持って日々の訓練や業務に取り組みたいと思います。上島町の皆さまに安心して頂けるように一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。

令和2年8月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R2累計
火災	0	0	0	0	0	0	1
救急	23	8	12	2	0	45	278

(令和2年8月31日現在)

上島町消防署 ☎77-4118



消防学校訓練発表会

しまなみ 農業だより

日焼け果の除去 かんきつの腐敗防止対策 エンドウの栽培



温州みかんの日焼け果

日焼け果の除去

これから温州みかんの収穫が始まり、中晩柑へと収穫が続きます。健康に注意しながら収穫が遅れないようにしましょう。

今年の夏は猛暑であったため、温州みかん、せとか等に日焼け果の発生が多かったと思います。着色が進むと健全果と見分けがつかないようになると、早めに摘み落としましょう。

かんきつの腐敗防止対策

近年、腐敗果の発生が多い傾向です。また、9月からの3か月予報を見ても気温が高いと予想されるため、今年も発生に注意が必要です。

○収穫は果実に傷をつけないよう丁寧に行いましょう。

○収穫前には腐敗防止剤の散布を行いましょう。

エンドウの栽培

エンドウの秋まき栽培は春先の晩霜により作柄が左右されるので、栽培する場所や種まき時期を早めないように注意しましょう。今回は春に収穫する豆類の代表であるエンドウの栽培ポイントについて解説します。

1 栽培のポイント

○豆類は連作を避けます。同一場所で作ると生育が悪くなります。

○乾燥、過湿を嫌い、良く肥えた土壌を好みます。

○酸性土壌を嫌うので、苦土石灰等をまく必要があります。

2 品種と作型

○品種
さやの平たい時期に収穫するサヤエンドウは、さやごと食べる丸さやのスナップエンドウ、実を食べる実エンドウがあります。

○作型
※下記に記載

3 栽培管理

○播種、播種間隔
うね幅180cmに株間20〜25cmで、2粒ずつ1条に直にまきます。

○施肥、播種後管理
種まきの2週間前に10㎡あたり苦土石灰1kg、堆肥10kgをまいて耕運します。

その1週間後に10㎡あたり高度化成肥料500gをまいて耕運後、畝を作ります。

エンドウはつる性のため、ネット（目合いの大きいもの）を利用してつるの誘引を行います。追肥は3月下旬頃から、さやを確認して化成肥料を少量株の外側にまきます。

4 収穫

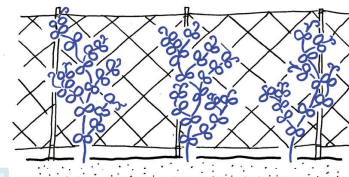
サヤエンドウ（平サヤ）は実が目立つ前に収穫します。スナップエンドウは、実が太ってきたころさやがみずみずしいうちに収穫します。

す。収穫が遅れると、皮が硬くなるので早めに収穫しましょう。実エンドウは、さやにしろがではじめる、実の太りが目立ってきたら収穫します。

5 病害虫防除

さやが付き始めるころから、うどんこ病、ハモグリバエの被害が多くなるので早めに防除しましょう。

△エンドウの誘引



●種まき ■収穫

作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
エンドウ（直まき）												